



臨時休校のお知らせ

昨日の「わくわく通信131号」でお知らせした通り、現在複数学級・学年にわたって閉鎖の措置をとっています。また、今週に入って、インフルエンザ罹患者が急増したことから、臨時休校の措置を取らせていただくことになりました。休校の期間は明日23日(木)～25日(日)までの4日間とします。平日の金曜日を挟んでの4日間となりますが、インフルエンザに罹患していない子供も、インフルエンザウイルスが潜伏している可能性があります。インフルエンザウイルスは、発症する1～2日前から潜伏しつつ増殖を始め、発症後1～3日に増殖のピークに達します。次第にウイルスは減少していきますが、発症してから5～7日後もウイルスはまだ体内に残っているとわれています。インフルエンザが流行する理由のひとつとして、まだ何も症状が現れていない潜伏期間のときから他の人に感染すること、解熱後も感染力が持続することが挙げられます。このことを踏まえても、休校中の不要不急の外出は控えてほしいと思います。



6年生中学校体験入学

昨日(21日)は、6年生が帯山中学校で体験入学を行いました。体験入学を通して、進学への不安を解消し、中学校生活への期待を高めることを目的としています。まず、帯中では生徒会の皆さんが制作したビデオで帯中を紹介してくれました。校訓の意味や、生活目標「あ=挨拶、そ=(無言)掃除、ふ=服装、じ=時間、へ=返事」について映像でモデルを示しながら分かりやすく紹介し、中学生の1日の生活についても説明してもらいました。中学校の学習が10教科(国語・数学・社会・理科・英語・音楽・美術・保健体育・技術家庭科・道徳)あることを知ると、「勉強は予習をなるべく多くして、ついていけるようにしたい。」という声が聞かれました。さらに給食、昼休み、掃除、帰りの会、部活動などについての紹介もあり、子供たちは興味津々でした。部活動はとても盛んで、運動部(野球・サッカー・バレー(男女)・バスケット(男女)・ソフトテニス(男女)・ソフトボール・ハンドボール(男女)・ラグビー・卓球・バドミントン・柔道・剣道・陸上)と文化部(合唱・吹奏楽・放送・美術・生け花・茶道)の計23部活動あることを知ると「しっかり考えて自分に合った部活動を選びたいです。」と言っていました。その後、体験授業に分かれ、帯西の子供たちは数学・社会・英語・理科・美術の授業を意欲的に参加していました。体験入学を終えると、子供たちは「中学校生活が楽しみになってきました。」「厳しい部分もあるけど、それに対応できるように自分を鍛えていきたい。」「自分をもっと伸ばして、中学校生活を楽しみたい。」と期待を高めていました。中学生の皆さんの準備と下級生を歓迎する気持ちは大変ありがたかったです。6年生には、今回の体験を卒業までの自分の成長に繋げてほしいと思います。

